

酒谷むらおこし株式会社（道の駅 酒谷）

（宮崎県日南市）

活動の概要

道の駅「酒谷」は、人口約980人、高齢化率50%を超える中山間地域の地区住民で構成する「酒谷地区むらおこし推進協議会」を中心に、1997年、農産物や加工品等を販売する店舗と食堂、加工室を併設した直売所を開設し、1999年に「道の駅」に登録。現在は、地域住民が株主の「酒谷むらおこし株式会社」が運営。

販売する農産物は地元農家の生産物のみで、人気の看板商品「草だんご」は、可能な限り地元産原料にこだわって製造・販売するなど、生産者の所得向上に貢献。

当初から「雇用は地元から」との方針でスタッフを採用、その殆どが地元女性であり女性が活躍できる場であるほか、地元高齢生産者が生涯現役で地域活動できる生きがいの場となるなど、地域活性化に貢献。

背景・経緯

1993年 酒谷地区住民で構成する「酒谷地区むらおこし推進協議会」発足。

1997年 直売所「酒谷ふるさと特産品センター」開設。
「酒谷ふるさと特産品センター管理運営協議会」を発足し管理運営。

1999年 「道の駅」へ登録。名称 道の駅「酒谷」

2006年 指定管理者制度の導入（日南市）

2011年 株式会社法人設立 「酒谷むらおこし株式会社」
地区住民の株主15名から27名へ（増資）

2015年 高齢者福祉サービス（集荷、弁当宅配等）開始。

2019年 インバウンドを対象におにぎり作り体験等実施。
（コロナにより現在休止中）



道の駅酒谷 外観



収穫祭の様子



人気加工品「草だんご」作り